

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究抄録(2022.4)令和2・3年度:

成人版アセスメントデータベースの記載内容の現状

○宮地実穂子 金田豊子 久保千夏 石倉かおり 佐藤こずえ 谷口亜紀子
稲場幸子 近藤聡子
旭川医科大学病院 看護部システム委員会

【はじめに】

A病院では、ゴードンの機能的健康パターンを枠組みとしアセスメントデータベースを開発してきた。昨年度は「アセスメントデータベースの健康知覚—健康管理パターンの記載内容の現状と課題」について研究し、収集したデータを整理・統合せずに記載し、既存の項目を十分に活用できていないことが明らかとなった。今回は、「健康知覚—健康管理パターン」以外の各パターンにどのような情報が記載されているかその実態を明らかにし、アセスメントデータベース（以下、データベース）活用に向けて考察することを目的とする。

【研究方法】

1. 対象：2018年2月1日～2月28日に成人版データベースの「健康知覚—健康管理パターン」を除く10のパターンにある「その他の関連情報」に新規・修正登録された4051件の記録。
2. 方法
 - 1) 電子カルテのデータベースから抽出された記録を前後の文脈を考慮して一つの意味が含まれる簡単な文章に分けた。
 - 2) 1) を各パターンで、①パターン内に項目がある ②他のパターンに項目がある ③記載する項目がないに分類し、記載内容の実態を明らかにする。

【倫理的配慮】

調査に必要なデータは、新規・修正されたデータベースの内容のみを一覧で抽出し個人が特定されることはないよう配慮し、A病院の倫理委員会で承認を得た。

【結果】

抽出された文章は、合計7067個であった。内訳は「パターン内に項目がある」が2512個、「他のパターンに項目がある」が1269個、「記載する項目がない」が1218個、「その他」が2068個だった。「記載する項目がない」の主な内容には、「栄養—代謝パターン」は嚥下補助食品の使用や食事形態、齧歯や動揺歯の有無、「排泄パターン」は排便時の症状や薬剤以外の排便に対する対処方法や工夫、「活動—運動パターン」は呼吸器症状やしびれ、倦怠感、家屋の状況について、「睡眠—休息パターン」は就寝時間、起床時間、午睡の有無、「役割—関係パターン」は家族の職業についての情報が記載されていた。

【考察】

昨年度研究した「健康知覚—健康管理パターン」の結果と同様に、「パターン内に項目があるもの」は既存の項目を十分に活用していないと考えられる。「他のパターンに項目があるもの」はゴードンの機能的健康パターンがアセスメントと診断の両方を体系化した枠組みであることや、概念に関する理解不足が要因と考えられる。「記載する項目がない」ものに関しては、データベースの目的にあった項目か見極め、各パターンのアセスメントの視点に沿った項目に関しては追加を検討する。それ以外の項目に関しては必要性を検討し、他の看護記録または患者基本など多職種と共有しやすい画面に入力するなど、データ活用の目的に合わせて電子カルテ上のどこに記載することが最善なのか検討する必要がある。